

平成29年度 第 11 回教育委員会定例会

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第 1 号 平成 29 年度垂水市一般会計補正予算（第 6 号）案についての市長への意見申出について</p>	<p>平成 29 年度垂水市一般会計補正予算（第 6 号）案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>議案第 2 号 平成 30 年度垂水市一般会計当初予算案についての市長への意見申出について</p>	<p>平成 30 年度垂水市一般会計当初予算案の作成について、差し支えない旨回答しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>

平成29年度 第 11 回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成30年 2月13日 (火)</p> <p>午後1時55分</p> <p>↓</p> <p>午後4時28分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育長 坂元 裕人</p> <p>教育委員 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p>	<p>教育総務課長 池松 烈</p> <p>学校教育課長 下江 嘉誉</p> <p>社会教育課長 野嶋 正人</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成29年度第11回教育委員会定例会を開会した。
議案第2号については非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成29年度第10回定例会会議録の承認

承認

3 議 事

報告第 1 号 平成29年度垂水市一般会計補正予算（第6号）案についての市長への意見申出について

議案第 2 号 平成30年度垂水市一般会計当初予算案についての市長への意見申出について

4 その他

なし

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議 事	報告第 1 号
教育総務課長	平成 29 年度垂水市一般会計補正予算（第 6 号）案についての市長への意見申出について
	平成 29 年度垂水市一般会計補正予算（第 6 号）案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告した。 （質疑なし）
議案第 2 号	平成 30 年度垂水市一般会計当初予算案についての市長への意見申出について
	（教育総務課） （非公開）
4 その他	なし
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	委員並びに教育長及び課長の報告に入る。
野村委員	1. 「学校給食センター試食会について」
	1 月 26 日（金）、学校給食センター試食会に参加した。この度全国学校給食甲子園大会出場という大変な栄誉を受けられた。その出場献立を是非味わいたいということで、今回学校給食センター所長の計らいで学校給食体験試食会に参加した。
	市報や南日本新聞でも紹介されていたが、この大会は、学校給食の中で、食育の啓発と地産地消の奨励を目標として、全国 2,025 団体が参加し、また、第 1 次から 4 次までの厳しい審査があり、そのうち 12 団体が決勝に進出するという大変な選考の厳しい大会だったということだ。九州・沖縄ブロックでは、鹿児島県と佐賀県の 2 県が代表県ということだ。そして、鹿児島県の代表が垂水市だ。
	私達は、全国大会出場メニューそのままの献立をいただいた。ちなみに、器ごとに言うと、①麦ごはん、②豆豆みそ汁、③ブリのねぎ塩焼とカブときゅうりの黒酢和え、④牛乳というものだ。それぞれ詳しくはコメントしないが、その内容は、一品ごとによく工夫されたものだということが分かった。調理される方々の細かく丁寧な心のこもった料理で、子供達の食欲、その満足感を思いながら、育ち盛りの子供達の気持ちになって頂いた。ありがとうございました。

田原委員

1. 「第4回地区公民館連絡協議会について」

1月16日（火）第4回地区公民館連絡協議会に出席した。今年度の反省と来年度の計画について話し合いが行われた。水之上地区公民館が毎年行っている本城川堤防の草払い作業について、水之上地区だけでなく、垂水中央地区も一緒になって実施できないものかと提案してみたら、垂水も同じ考えを持っていたので、来年度は考えてみるという回答を得た。このような会議の中で情報交換して、隣同士の公民館が連携していろいろな行事を実施できたら、垂水全体の環境整備や地域づくりがより効率的にできるのではないかとヒントを得た。

2. 「学校給食センター試食会について」

1月26日（金）学校給食センター試食会に参加した。全国2,000校余りの小中学校や給食センターが応募した給食甲子園で、数回の書類審査を勝ち抜き、決勝大会に九州・沖縄代表として出場し、見事入賞した給食の試食をさせてもらった。垂水特産のブリは臭みが全くなく、さっぱりととろけるような味に仕上がり、みそ汁もとろみがあり、具材の大豆などの味の良さが引き立っていた。見かけの派手さはないが、垂水の食材の豊かさや味の良さが際立った給食作品だと思った。給食甲子園に挑戦してみようと思われた所長以下職員の皆様の心意気と努力に脱帽だ。垂水の子供達は幸せだ。

3. 「柘原小学校研究公開について」

1月26日（金）柘原小学校研究公開に参加した。とても寒い日であったが、40数名の先生方が参加され、熱心に授業を見て、研究協議をされた素晴らしい研究会であった。研究誌の中に、研究の目標や視点、方策が明確に示されていて、その方向に沿った研究が2年間、毎時間毎時間積み上げられた成果が、2つの授業にはっきり現れていた。授業の進め方がどの学年も全く同じで、調べたことを同学年で発表し合い、友達の意見を復唱したり、自分の考えを加えたりする意見交換の場や他学年の子供との意見交換の場の設定など、複式学習とは思えない斬新さがあった。また、指導過程の全てを子供達がたどっていくと、終末には先生方がねらいとしているまとめに行き着いていたのには驚かされた。このような国語学習が積み重ねられれば、どんな子供達が育つのだろうか将来に期待の膨らむ授業であった。これまでの、特活の研究や1年を通して実施されている俳句の投稿などの成果が全て結集された研究会だったのかなあと思った。

中谷委員

1. 「柘原小学校研究公開について」

1月26日（金）12時、給食センターにて、市議の方々と一緒に試食会。とてもおいしかった。このまま長く垂水の子供達に提供をしてほしい。

13時半、柘原小で研究公開授業。「かかわり合いを通して、子供が主体的に学習する複式学習指導の工夫」、普段の子供達の顔とは違う少しよそ行きの顔の子供達、目も耳も口も体全体集中して、いい顔で授業を受けていた。学校全体がきちんと準備がなされ、落ち着いて静かな空気の中でたくさんの工夫がなされた授業だった。この子供達が、これから友達同志どう関わり合ってどんどん成長していくのが楽しみである。

2. 「スーパーでの出来事について」

「孫が高校に合格したよ。」。スーパーのレジに並んでいたら、私の前の人が話しかけてきた。

「おめでとうございます。」「良かったですね。どちらの高校に？」、

「兄ちゃん、姉ちゃん達と同じところ。」、

「それは安心ですね。」「そしたら、これからますますお金がいらしますね。」

「だから、この私の格好見てご覧。今日もいっぺこっぺ働いてきたが。」なるほど、作業着姿。おしゃべりを続ける保護者のこの祖母の顔は笑顔でいっぱい。

以前、定例会で、なかなか学校にいけなかった生徒が親の明るく元気に働く姿を見てとったか、学校を休まなくなってきたと、嬉しい報告をさせていただいたところの家族の話です。

合格した新しい環境の中で、力強く高校生活を送って行ってほしい。夢を大きく持って学校の楽しさをたくさん味わってほしいと願うばかりである。

スーパーは私にとって、親同志の情報の交換場所。できるだけ、店に行き、その時出合った保護者となるべくおしゃべりをするようにしている。

「中谷さん、会いたかった。」と向こうから声をかけてもらうことも多い。有難いことだと思う。子供達を見守る大人達が、こちら、あちら、そちら、向こうの遠くの方でも繋がり合っていたら、とても強い力になって垂水の子供達を守っていける。学校応援団での活動も同じである。

葛迫委員

1. 「ワダコン表彰式、ワダコンギャラリートークについて」

1月21日（日）ワダコン表彰式は、本年度、鹿屋市美術展と開催が重なってしまい、出品者に対しては作品搬出に大変御迷惑をかけたのではと思っている。ただ、鹿屋市美術展の実行委員長の配慮で、鹿屋市美術展の搬出時間を遅くしていただいたこともあり、搬出に関してはスムーズにいったのではと考えている。

また、28日（日）ワダコンギャラリートークに関しましては、鹿屋市美術展の搬出時間に余裕があったことから、昨年同様多くの参加者があった。ワダコンは当初から、参加者や出品者の意見と、そして審査員の意見はこうだったという対話型のギャラリートークを設定していることで、みんなの参加者のためのギャラリートークになっているのではと思うところだ。時にはメモを取る人、仲間の作品に意見する人、絵画を描かない絵画愛好家の立場から意見する人など多くの参加者が意見を出し合い、賑やかなギャラリートークになっているのではと感じるところだ。

今後は、ギャラリートークに加えてワークショップなど、他では見られないイベントなどを取り入れた絵画コンクールにしていけたらと考えているところでもある。

2. 「第2回生涯学習推進会議について」

2月6日（火）第2回生涯学習推進会議に出席した。垂水市において、平成29年度中市民講座、出前講座、公民館講座などの生涯学習を受講された方々が6, 385名、なかでも公民館講座の受講者が5, 525名もいらっしや

<p>教育長</p>	<p>ることに嬉しく思った。人はいくつになっても学ぶ姿勢を持つこと。生涯学習が生きがいとなり健康促進に役立つこと。また、人と人とのつながりによって充実した生活が送れるようになること。故郷の文化・芸能・歴史を知ること、故郷の良さを体感しながら生きていくことなど、改めて感じるところだった。</p> <p>1. 「垂水市PTA会員研修会について」 2月3日（土）開催の市P連研修会に参加して、いずれの学校でも子供達のためにPTAの方々が頑張ってくださっていることを改めて実感でき、まず感謝申し上げたい。 今回は、垂水小、新城小が発表であった。この2校を含め、各学校で体験不足の子供達のために、ふるさとの行事や伝統行事等に子供達を参加させ、貴重な経験をさせてもらっている。有り難い取組である。 PTA活動の活性化は、家庭の教育力を高めることにもつながると考える。垂水小の1家庭1家訓の取り組みは、まさに家庭の教育力を高めるとともに、あいさつの習慣化や読書など子供にとって生涯の財産となるものである。 今後も各学校のPTAが連携して、垂水の子供達の健全育成のために取り組んでほしい。</p> <p>2. 「第2回垂水市人権教育研修会について」 2月9日（金）の人権教育研修会では、常深校長らしい元気いっぱいの講演であった。特に人を見るときに、プラスイメージで捉えているかということをお伝えしたのだらうと考える。人をプラスイメージで捉えるということは、前向きに関わることができるということであり、良好な人間関係が構築できるということでもある。 また、講演の最後で流されたメッセージから、改めて教育の役割の大きさ、教師という仕事の重さを感じた。教育の怖さとやり甲斐と言ってもよい。 今回の研修で学んだことを生かしながら「人権が守られているか、人権感覚は大丈夫か」等、学校・家庭・地域とも連携しながら教育委員会としても「人権教育」を推進していきたい。</p>
<p>教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長</p>	<p>1月11日から2月13日までの主な行事等について報告。 併せて、3月12日までの行事予定についてお知らせした。</p>
<p>6 閉 会</p>	